

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立有田工業高等学校【定時制】

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日

令和6年2月27日(火) 第6回学校運営協議会

(2) 資料(評価の参考とした資料)

- ・学校運営協議会資料(第1回～第6回)
定時制の紹介及び取組資料
- ・学校評価計画・中間評価・結果
- ・有工ヤッホー(学校新聞)

(3) 評価者

学校運営協議会委員(10名)

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・各項目の取組目標も妥当であり、それぞれの分掌間の連携ができています。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・セラミック科とデザイン科は県内唯一の学科であり、生徒個々の特性に応じた対応等において職員間の協力体制が整っている。

③改善方策の適切さ

- ・教職員の働き方改革として、資料の事前配布による会議時間の短縮は効果がみられる。また、勤務時間と休憩時間の切り替えを明確にすることによる業務の効率化ができています。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・少人数による個別対応が可能な授業による学びやすさが、生徒の学習意欲の向上につながり、進路意識の向上にもつながっている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・「生活チェック表」と「生徒連絡会」による生徒理解の取り組みによる生徒の実態把握ができていることで、学校が生徒にとっての安心できる場として確立され、出席率の向上にもつながっている。

③改善方策の適切さ

- ・様々な行事が、生徒の成長に必要な知識と経験を伴うものとして計画実践されている。また、生徒が興味を持ちやすい内容が取り入れられている。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・全日制と一緒に行事(文化祭、卒業制作展)や公募展への出品・入賞が、定時制の生徒の自信につながっていると思われる。